

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	青年期保健事業				担当部	健康福祉部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	保健センター				
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	成人保健係			
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉	10 健康づくり	1 体の健康づくりへの取組みを支援する						
		副目的	11-4								
	予算区分	款	4	項	1	目	4	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画	健康増進法、健康こまきいきいきプラン									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	概ね40歳未満を対象とした市民に対し、若いうちから主体的に体や心の健康づくりに取り組めるようにし、健康の保持増進を図るとともに生活習慣病やその予備軍の予防に繋げる。									
内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壮年期を向かえる前から、健診に対する意識付けを行い、自分の健康管理をしてもらえるように働きかけをした。その内容としては、ヤング健診(事業所等で健診機会の無い35歳を対象に身体計測、血圧測定・健康相談等の内容で実施)年間5回実施した。 ・歯周病予防個別健診(35歳を対象に歯科医院において歯科健診、ブラッシング指導等を実施)を歯科医院で実施した。 <p>なお、事業については業務委託を中心に対応した。 また、35歳になる年齢対象者には、健診の勧奨及び健康情報を提供するために個別通知を行った。</p> <p>◆24年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤング健診事業委託料 993千円 ・歯周病予防個別健診事業委託料 579千円 ・講師等謝礼、印刷製本費等 1,260千円 <p>○25年度実施内容</p> <p>ヤング健診を年間5回から6回にする。 平成24年度と同じように実施する。</p> <p>◆H25直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤング健診事業委託料 1,771千円 ・歯周病予防個別健診事業委託料 782千円 ・講師等謝礼、印刷製本費等 1,480千円 										
受益者負担	無										

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,642	2,472	2,832	4,033	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,066	1,066	1,066	1,066
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	3,708	3,538	3,898	5,099		
対前年比	%			95.4	110.1	130.8		
財源	一般財源	千円	3,657	3,500	3,898	5,099		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	51	38	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	ヤング健診実施日数	日	目標	7	6	5
実績				6	6	5	
業	乳がん検診者対象健康教育	回	目標				50
			実績				
業	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			目標	800	500	450	450
業	ヤング健診受診者数	人	実績	404	366	339	
			目標	500	250	200	250
業	歯周病予防個別健診受診者数	人	実績	101	77	185	
			目標				

事業の自己評価	平成24年度の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤング健診受診者数は、減少傾向にある。 ・歯周病予防個別健診については、平成24年度から自己負担を無しにしたこともあり、受診者数が増加した。 	
	事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・若いうちから自身の健康状態を知り、生活習慣を振返る、また健康づくりに取り組む等の動機付けが出来る方法を考え、受診行動ができるようにする必要がある。 	
	事業を縮小・廃止したときの影響	生活習慣が起因する疾病の予防に向け、若いうちからハイリスク者を見つけるとともに、自覚症状が無くとも生活習慣の行動変容に繋がるような動機付けを実施する事業は、他に類似する事業もないため、これらの機能を果たせなくなる。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持
	判定理由	いつまでも健康に過ごすことが出来るよう、若いうちから健康づくりに取り組む事は、必要であるため、現在の対象で事業を実施していく。	
	26年度以降の改善案	疾病の罹患率が上がる壮年期前から、自分の身体の状況を知り、健康な生活を営むことができるように、若い世代に健康の大切さを伝え、健康保持増進ができる働きかけをする等有効なPRを考えていく必要がある。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。